



# オリーブオイルの輸入



- ・ 2013年の輸入数量・金額は、全国・東京港ともに過去最大を記録
- ・ 東京港のシェアは、輸入数量・金額ともに全国の約3割を占め、第一位（2013年）
- ・ 20年前(1993年)と比較すると、2013年の全国の輸入数量は約10倍、輸入金額は約15倍に増加

## はじめに

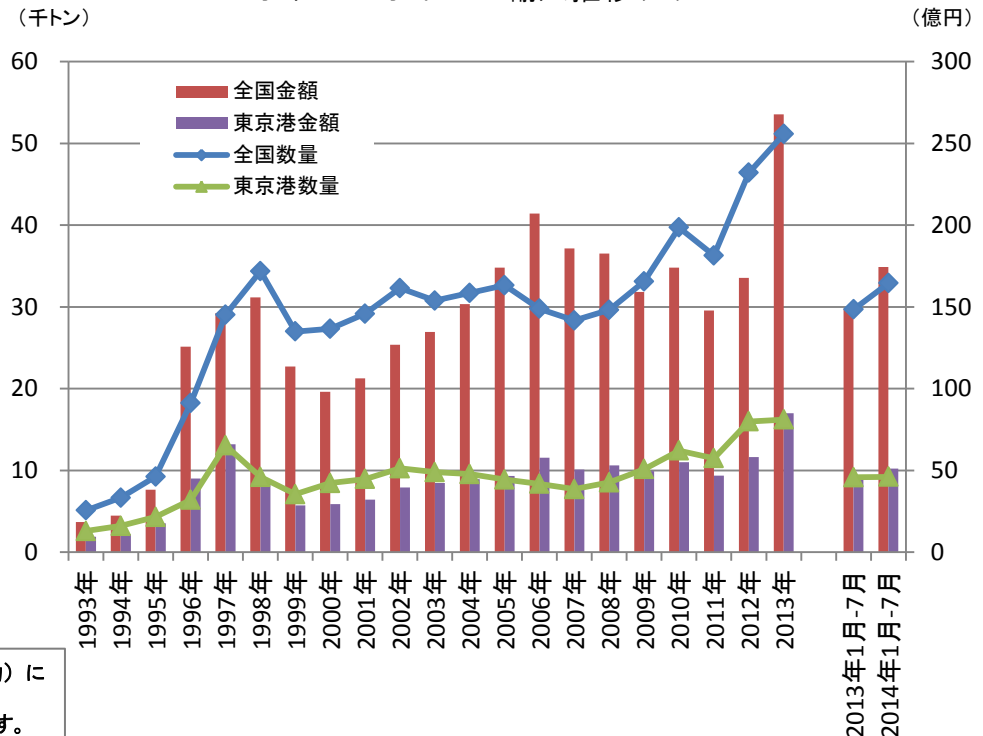
イタリア料理、スペイン料理など地中海料理で良く使われるオリーブオイルは、主に地中海沿岸地域で多く栽培されているオリーブを原料とし、種子ではなく果実を絞って作られる、独特な芳香・風味が特徴の植物油です。

食習慣の変化や健康志向の高まりによって、食材としての認知度が上がり、今日では、スーパーマーケット等で定番商品として目にする事が出来るようになりました。

20年前(1993年)の輸入量は、全国で数量5.1千トン、金額18.4億円程度でしたが、その後、輸入量が大きく増加し、2013年は全国で数量51.1千トン、金額267.8億円を記録し、20年前に比べ数量で約10倍、金額で約15倍と大きく増えています。

今回は、2013年に全国及び東京港で、輸入数量・輸入金額ともに過去最大を記録したオリーブオイルにスポットを当ててみました。

オリーブオイルの輸入推移グラフ



・ 本特集の「オリーブオイル」は、輸入統計品目番号1509項（オリーブ油及びその分別物）についてまとめたものです。  
 ・ 本特集で用いている数値は財務省貿易統計によります。なお、2014年7月分は速報値です。

## 1. 輸入動向

	全国				東京港			
	数量 (千トン)		金額 (億円)		数量 (千トン)		金額 (億円)	
	(前年比)	(前年比)	(前年比)	(前年比)	(前年比)	(前年比)	(前年比)	
1993年	5.1	-	18.4	-	2.6	-	9.5	-
1994年	6.6	130.0%	22.4	121.9%	3.2	124.4%	11.0	115.7%
1995年	9.2	139.1%	38.2	170.4%	4.3	134.2%	17.6	159.8%
1996年	18.2	197.1%	125.7	329.4%	6.4	148.5%	45.1	256.9%
1997年	29.0	159.4%	146.3	116.4%	13.1	204.0%	66.1	146.3%
1998年	34.4	118.4%	155.8	106.4%	9.2	70.4%	43.8	66.4%
1999年	27.0	78.5%	113.6	72.9%	7.1	77.0%	28.5	65.1%
2000年	27.3	101.2%	98.1	86.4%	8.5	119.4%	29.4	103.2%
2001年	29.2	106.7%	106.3	108.3%	8.9	105.8%	32.1	109.0%
2002年	32.3	110.8%	126.9	119.4%	10.3	114.6%	39.7	123.6%
2003年	30.8	95.3%	134.7	106.2%	9.8	95.4%	42.4	106.9%
2004年	31.7	103.0%	151.7	112.6%	9.6	97.7%	44.6	105.3%
2005年	32.7	103.0%	174.1	114.8%	8.9	92.9%	46.6	104.3%
2006年	29.8	91.2%	207.2	119.0%	8.4	94.1%	57.7	123.9%
2007年	28.3	95.2%	185.8	89.7%	7.7	92.3%	50.6	87.6%
2008年	29.6	104.5%	182.7	98.3%	8.5	110.7%	53.1	105.0%
2009年	33.1	111.8%	159.1	87.1%	10.2	118.9%	49.6	93.4%
2010年	39.7	119.9%	174.1	109.4%	12.4	122.3%	55.0	111.1%
2011年	36.3	91.4%	147.9	84.9%	11.5	92.5%	46.8	85.0%
2012年	46.4	127.9%	167.7	113.4%	16.0	139.3%	58.1	124.2%
2013年	51.1	110.2%	267.8	159.7%	16.2	101.4%	85.0	146.3%
2013年1月-7月	29.7	-	149.1	-	9.2	-	46.4	-
2014年1月-7月	32.9	110.8%	174.4	117.0%	9.2	100.6%	51.2	110.4%

輸入金額は20年前（1993年）に比べ、2013年は、全国で約15倍、東京港も約9倍に増加

2013年の全国におけるオリーブオイルの輸入実績は、数量51.1千トン、金額267.8億円であり、数量・金額ともに過去最大を記録し、1993年に比べ数量で約10倍、金額で約15倍に増加しました。また、東京港では、数量16.2千トン、金額85.0億円であり、こちらも数量・金額ともに過去最大を記録し、数量で約6倍、金額で約9倍に増加しました。

全国における輸入量の推移を見ますと、1990年代後半に輸入量が大きく増加しました。その後は、年間30千トン程度で推移していましたが、2009年から、輸入量が再び増加基調となりました。

なお、本年1月-7月も、全国において、数量32.9千トン、金額174.4億円が輸入されており、東京港においても、数量9.2千トン、金額51.2億円と、数量・金額ともに増加基調で推移しています。

### ●●●オリーブオイルの種類と用途●●●

#### ■バージンオリーブオイル

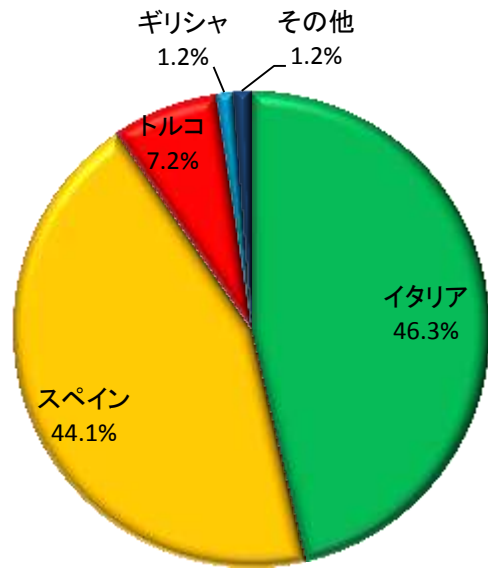
オリーブの実を搾って濾過しただけの、化学的処理を行わない一番搾りのオイルです。官能検査や酸度の違いによって「エキストラバージン」「バージン」「オーディナリーバージン」に区別されます。中でも「エキストラバージンオリーブオイル」は酸度が0.8%以下で最高級のオリーブオイルです。香りや味わいを楽しむため加熱せず、サラダやマリネなどの生食や、パスタ料理やグリルした白身魚などの仕上げに適しています。

#### ■オリーブオイル（ピュアオリーブオイル）

バージンオイルと精製したオリーブオイルをブレンドしたものです。焼き物、炒め物などの加熱料理で広く利用されています。

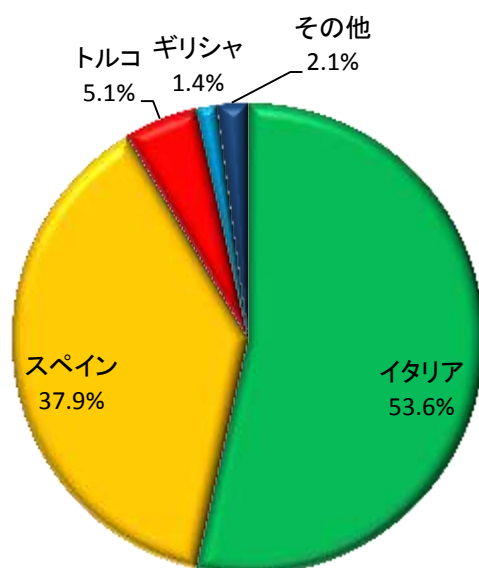
（参考：日清オイリオグループ株式会社 ホームページ）

## 2. 国別 数量・金額シェア



2013年数量  
51.1千トン

### 全国



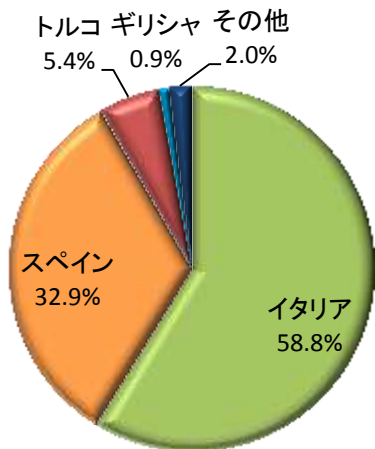
2013年金額  
267.8億円

### イタリア・スペインが大きなシェア

全国における2013年の国別内訳を見ますと、イタリアからの輸入が、数量シェア46.3%、金額シェア53.6%で1位、スペインからの輸入が、数量シェア44.1%、金額シェア37.9%で2位となっており、この2カ国を合わせると、数量・金額ともに全体の約9割と、圧倒的シェアを占めています。また、3位以下の国を見ますと、3位はトルコ、4位はギリシャとなっており、地中海沿岸の国々が上位を占めていることが分かります。

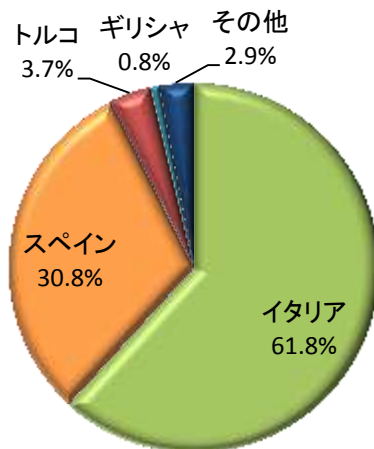
なお、東京港においても、上位4カ国の順位は変わりませんが、全国と比べ、イタリアからの輸入の割合が大きく、数量シェア58.8%、金額シェア61.8%となっています。

地中海沿岸は、原料となるオリーブの栽培に適した環境と言われており、スペイン・イタリア・ギリシャ・トルコなどのヨーロッパ、シリアなどの地中海東岸地域のほか、アフリカ北部の沿岸地域でも栽培されています。特に、スペインとイタリアは、世界のオリーブオイル生産国の中で大きなシェアを占めており、生産量はスペインが1位、イタリアが2位とのことです。



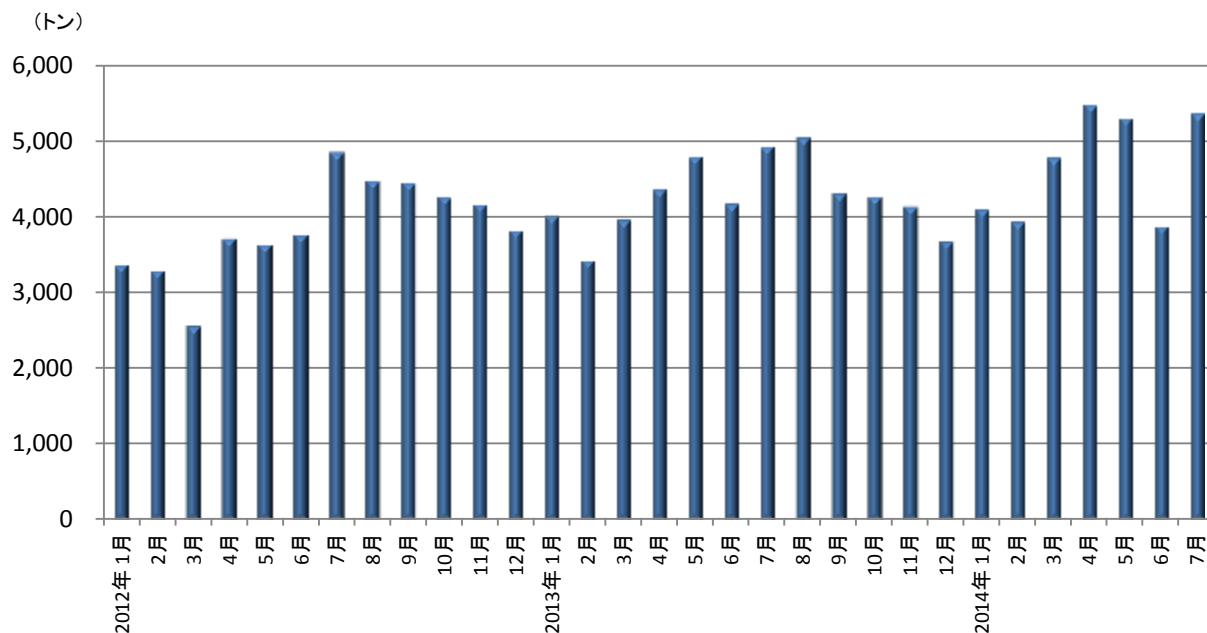
2013年数量  
16.2千トン

### 東京港



2013年金額  
85.0億円

### 3. 月別 輸入数量の推移（全国）



#### 夏場を中心に輸入が増加

近年における全国の月別輸入数量の推移を見ますと、年間を通して一定量の輸入がある中で、夏場を中心とした時期に輸入量が増える傾向があります。

業界によれば、夏場はサラダやパスタへ使用する等、オリーブオイルの使用量が増え、需要が高まる傾向があるため、夏場を中心に輸入が増える一因として考えられるとのことです。

#### ●●●オリーブオイルの栄養素●●●

オリーブオイルには、不飽和脂肪酸であるオレイン酸を多く含むほか、必須脂肪酸であるリノール酸、 $\alpha$ -リノレン酸を含んでいます。これらの成分のはたらきは、以下の様に評価されています。また、微量成分としてポリフェノールも含んでいます。

**オレイン酸**：LDL（いわゆる悪玉コレステロール）を増加させず、HDL（いわゆる善玉コレステロール）を減少させない

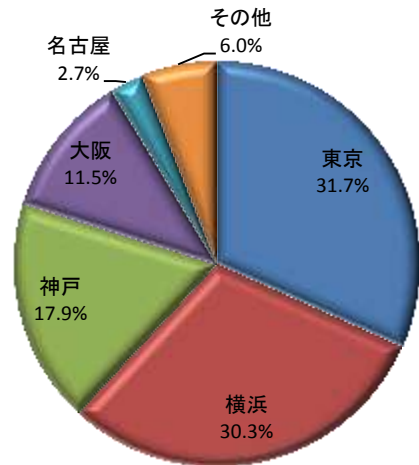
酸化に対する安定性があり、体内における過酸化物の発生が抑えられる

**リノール酸**：コレステロール降下作用

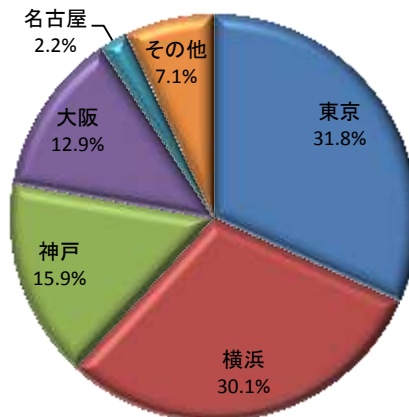
**$\alpha$ -リノレン酸**：動脈硬化予防、血清脂質の改善、免疫応答の改善、制がん

（参考：一般社団法人 日本植物油協会 ホームページ）

#### 4. 港別シェア



**2013年全国数量**  
51.1千トン



**2013年全国金額**  
267.8億円

#### 輸入数量・金額ともに東京港が1位（2013年）

2013年における港別のシェアを見ますと、東京港が数量31.7%、金額31.8%を占め、全国1位の港となっています。2位は横浜港で、数量30.3%、金額30.1%と、東京港と同程度の輸入があります。これら首都圏に位置する両港を合わせると、数量62.0%、金額61.9%に上り、輸入拠点として大きなシェアを誇ります。

なお、3位以下を見ますと、上位は神戸港、大阪港、名古屋港と海港が占めており、専ら海上輸送で輸入されていることが分かります。

#### ○今後の見通し等

業界によれば、「オリーブオイルは食用油マーケットにおいて成長している品目である。以前は、イタリア料理に使われる程度で使用方法が限られていたが、最近では、サラダにそのままかけたり、パンにつけるといった使い方に加え、和食への活用等、用途の幅が広がってきた。また、健康志向の高まりもあり、ヘルシーなオイルとしてのオリーブオイルの認知度が上がってきている。今後もオリーブオイルの需要は増加すると思われる。」とのこと。

#### 【本資料に関する問い合わせ】

東京税関 調査部 調査統計課 TEL：03-3599-6385（直通）

〒135-8615 東京都江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎2階

※本資料を引用する際は、東京税関の資料による旨を注記して下さい。

## (参考)

### 2. 国別 数量・金額シェア (2013年)

国	全国数量 (キロ)	当月金額 (千円)
イタリア	23,698,617	14,339,009
スペイン	22,568,487	10,148,557
トルコ	3,688,944	1,354,774
ギリシャ	598,559	383,378
その他	594,366	550,827
<b>総計</b>	<b>51,148,973</b>	<b>26,776,545</b>

国	東京港数量 (キロ)	東京港金額 (千円)
イタリア	9,535,499	5,255,822
スペイン	5,333,952	2,616,138
トルコ	879,344	313,239
ギリシャ	147,128	66,243
その他	321,594	250,514
<b>総計</b>	<b>16,217,517</b>	<b>8,501,956</b>

### 3. 月別 輸入数量の推移 (全国)

(単位: トン)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2012年	3,371	3,293	2,560	3,720	3,638	3,763	4,860	4,483	4,456	4,267	4,171	3,823
2013年	4,015	3,431	3,964	4,369	4,797	4,181	4,932	5,053	4,309	4,277	4,144	3,676
2014年	4,102	3,941	4,791	5,489	5,309	3,881	5,380					

### 4. 港別シェア (2013年)

港	数量 (キロ)	金額 (千円)
東京	16,217,517	8,501,956
横浜	15,474,832	8,067,931
神戸	9,157,475	4,245,000
大阪	5,861,205	3,456,423
名古屋	1,361,601	600,606
その他	3,076,343	1,904,629
<b>総計</b>	<b>51,148,973</b>	<b>26,776,545</b>